

2008年

「もんじゅ」が、「プルサーマル」が、溶け出しそうです！！

若狭町 石地 優

皆さん、明けましておめでとうございます。

温暖化の影響か(?)長い間 凍結状態にあった県内の2つの課題(もんじゅ運転再開、プルサーマル計画)も、今年は溶け出す方向に進んでいます。なんとかせにゃ!、「みえない雲」の上映のご案内をしながら県内の課題についてお知らせいたします。

「みえない雲」の上映会 やります

昨年、福井市と小浜市で、「みえない雲」という原発事故をテーマにしたドイツのベストセラー小説を映画化した作品が上映されました。私は、小浜で観させてもらいました。そのとき、一緒に観に行かれた敦賀のSさんと敦賀でも上映してみようかという話になり、3月23日(日)に敦賀市で上映会を開くことになりました。

動き出す県内原発2つの課題

1995年からナトリウム漏れ火災事故で停止している高速増殖炉「もんじゅ」を2度の再開目標を延期して日本原子力開発機構が、今年10月にも運転再開をもくろんでいます。原子力機構は、新年の挨拶で、福井県知事や敦賀市長に対し、運転再開の意欲を示しました。また、運転再開に向け今春から地元説明会を行うことも示しています。2008年度予算案でもんじゅ新交付金(高速増殖炉サイクル技術研究開発推進交付金)として、県、敦賀市、美浜町に5年で55億円が、計上されました。(関係ないけど、今年から大リーグに行く黒田投手の年俸ぐらい)。県が推進しているエネルギー開発拠点化計画予算も県



の要望がほぼ満額となり 運転再開には敦賀市長や知事の同意が必要ですが、前述のように着実に外堀が埋められつつある状況です。

一方、1999年に件が受け入れを表明した高浜原発でのプルサーマル計画についても関西電力は、昨年末再開意欲を示していません。事前了解判断については、高浜町長、知事とも、「変わらない」との態度を示しています。

ただ知事は多発するトラブルに対して苦言を呈し

美浜3号機事故負傷者への対応

トラブルの要因分析と事故防止計画策定

プラントごとの高経年化対策

耐震安全性の確保に向けた国や事業者の取り組みの4項目が適切に進められ、方向性などが県民に幅広く理解を得られることが重要との認識を示しました。

関電は、1月15日 県に対し、トラブル提

言に向けた対策をまとめ 熟練技術者を長期間同じ原発で作業させ技術力を確保する」などの対策を示しました。後日トラブル対策の実施時期や、残りの3項目について改めて報告すると述べました。

キーワードは地震

去年は、原発が地震で大きく揺れた年でした。3月に志賀原発、7月に柏崎刈羽原発が想定を上回る地震に襲われ、裁判でも志賀原発で、原発を止めよとの判決、浜岡原発では180度判断の異なる反動判決と、大きな揺れがありました。県内でも、2003年に関電が再点検した海域で新たな断層が19本見つかっています。もんじゅの運転再開、高浜のプルサーマル計画とも地震問題が鍵となってきます。今年3月に出される原子力機構、関西電力両者の報告が注目です。



破局を避けるために

「みえない雲」の印象に残った場面で主人公が放射能を帯びた雲から逃げ切れず観念して雨を浴びるところがあります。どんな気持ちで浴びられたのか、胸に迫るものがありまし



【ある原発労働者の死「リサちゃんのパパ」より-
「原発からでる放射能に苦しめられるパパ」】

た。「もんじゅ」、「プルサーマル」とも大事故による破局が、十分想像されます。そうならないように想像力を働かせ脱原発に向け対応したいと思います。

「みえない雲」は、越前市などでも山崎さんが呼びかけて上映されるそうです。

美浜町では松下さんが、1月環境とゴミ問題について美浜中学校で中学生に講演されます。

2008年がスタートしました。今年もよろしくお祈りします。

映画「みえない雲」

原作はチェルノブイリ原発事故翌年に発表され、大きなセンセーションを巻き起こし、ドイツ青少年文学賞をはじめ多数受賞したベストセラー小説。

爆発事故から20年となる今年3月に公開され、実際に17の稼働中の原発を有するドイツでは、その評判と衝撃が瞬間に広がり、二人の切なく美しい愛の奇跡に多くの人が涙した。

監督は前作『レボリューション6』のスタイリッシュな映像と音楽で注目を集めたグレゴール・シュニッツラー。